

[成果情報名] 早生ウンシュウミカンにおけるホワイトコート利用によるカブリダニ類の保護

[要約] ホワイトコートを利用した天敵保護防除モデルでは、化学農薬半減防除体系や慣行防除体系よりカブリダニ類の発生が多くなり、ミカンハダニは発生ピーク後に速やかに減少する。

[キーワード] ウンシュウミカン、ホワイトコート、カブリダニ、ミカンハダニ、

[担当] 農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2013 年度

[背景・ねらい]

土着天敵による害虫の密度抑制を行うにあたって、ミカンハダニの天敵であるカブリダニ類を保護する必要がある。そのため、カブリダニ類への影響が強いとされるマンゼブ水和剤（ジマンダイセン、ペンコゼブ）の使用回数を削減した防除体系を開発する。そこで、カブリダニ類への影響が少ないと考えられるホワイトコートを用いた防除体系における、カブリダニ類の発生活動を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. ホワイトコートを利用した天敵保護防除モデルでは、慣行防除体系や化学農薬半減防除体系と比べてカブリダニ類の発生が多い（図1、2、3）。
2. ホワイトコートを利用した天敵保護防除モデルでは、無防除と同様にミカンハダニの増殖に伴い天敵類の発生が増加し、ミカンハダニは発生ピーク後に速やかに減少する（図1、4）。
3. 後期の黒点病、小黒点病の被害防止のため、8月はマンゼブ水和剤を散布するが、一部のカブリダニ類は生き残り、その後のミカンハダニの密度抑制に寄与する（図1）。

[成果の活用面・留意点]

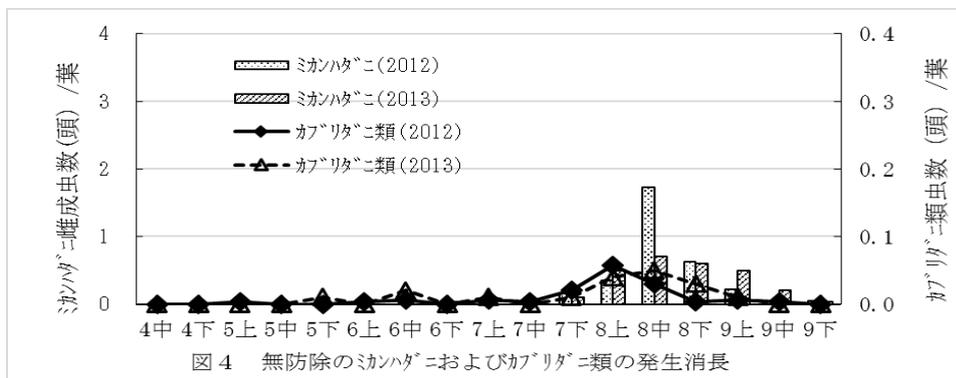
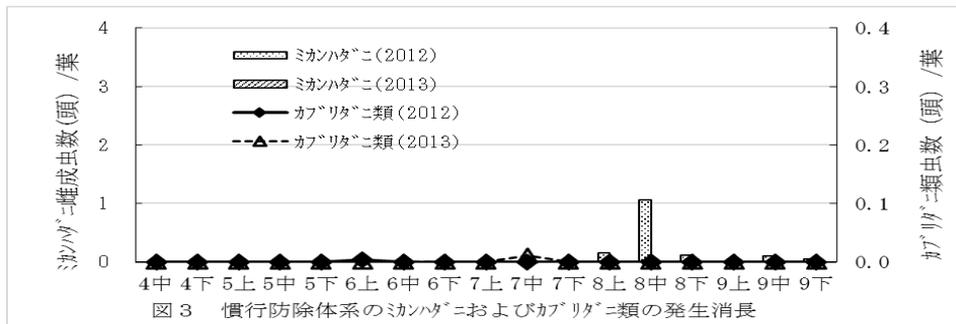
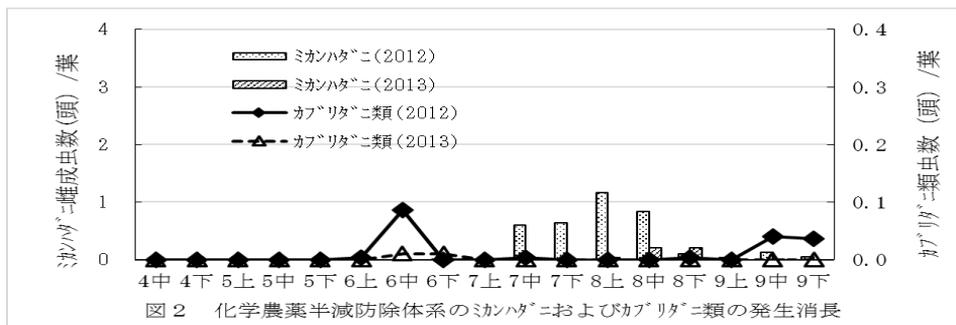
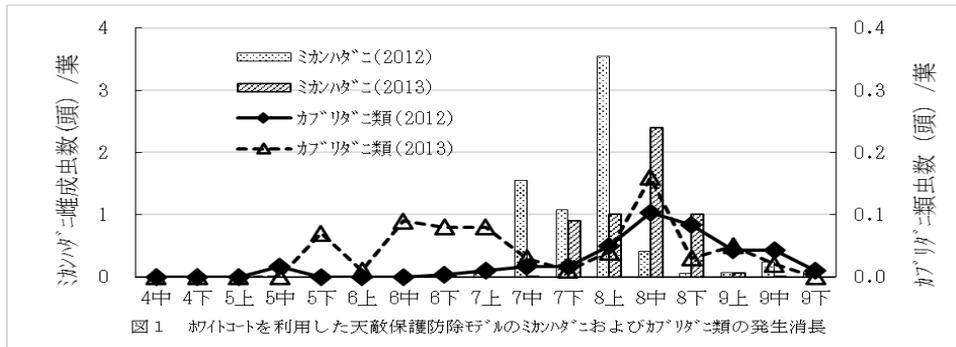
1. ホワイトコートは微粒子化された炭酸カルシウム水和剤であり、ウンシュウミカンではチャノキイロアザミウマに対して希釈倍数 25～50 倍で登録されている。
2. 8月下旬以降ミカンハダニが減少しない場合には、化学農薬で防除する。
3. 本試験に供試した品種は「原口早生」である。

【参考】試験圃場の防除実績（2013）

月	旬	天敵保護防除モデル	化学農薬半減防除体系	慣行防除体系
4	上	デランフロアブル 1000倍 4/9	デランフロアブル 1000倍 4/9	デランフロアブル 1000倍 4/9
5	上	エコショット(開花初期) 5/8	エコショット(開花初期) 5/8	モスビラン水溶剤 4,000倍 5/13
	中	エコショット(満開～落弁初期) 5/17 モスビラン水溶剤 4,000倍 5/14	エコショット(満開～落弁初期) 5/17	ストロビーDF 3,000倍 5/13
6	上	ホワイトコート 50倍 6/5	ジマンダイセン水和剤 600倍 6/5 ハーベストオイル 400倍 6/5	ジマンダイセン水和剤 600倍 6/5
	中	ハーベストオイル 400倍 6/11 バイオリサカミキリ設置 6/12	バイオリサカミキリ設置 6/12	ジマンダイセン水和剤 600倍 6/17 ハーベストオイル 200倍 6/17
	下	ホワイトコート 50倍 6/29 コサイド3000 2000倍 6/29	ジマンダイセン水和剤 600倍 6/29 ハーベストオイル 400倍 6/29	スプラサイド乳剤 1,500倍 6/29
7	上	ホワイトコート 50倍 7/16 コサイド3000 2000倍 7/16		サンマイル水和剤 3,000倍 7/2
	中	水和硫黄剤 7/24	水和硫黄剤 7/24	エムダイファー水和剤 600倍 7/10 ダントツ水溶剤 4000倍 7/10
8	上			
	中	ジマンダイセン水和剤 600倍 8/14	ジマンダイセン水和剤 600倍 8/14	ジマンダイセン水和剤 600倍 8/13 エルサン乳剤 1,000倍 8/13
9	上	スターマイルフロアブル 2,000倍 9/3	スターマイルフロアブル 2,000倍 9/3	スターマイルフロアブル 2,000倍 9/3 ジマンダイセン水和剤 600倍 9/3
10	下	ベンレート水和剤 5,000倍 10/31 ペフラン液剤 2,000倍 10/31	ベンレート水和剤 5,000倍 10/31 ペフラン液剤 2,000倍 10/31	ベンレート水和剤 5,000倍 10/31 ペフラン液剤 2,000倍 10/31

※斜体の文字は化学農薬

[具体的データ]



[その他]

研究課題名：温州ミカンにおける天敵利用技術の開発

予算区分：県単

研究期間：2009-2013 年度

研究担当者：副島康義、内川敬介